



平成 27 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 新光電気工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 清 水 満 晴
コード番号 6967 東証第 1 部
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
清 野 貴 博
TEL (026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社
代表者名 代表取締役社長 田 中 達 也
コード番号 6702 東証、名証各第 1 部

業績予想の修正および特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等をふまえ、平成 27 年 4 月 28 日に公表した平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想の修正および特別損失の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 27 年 4 月 28 日発表)	74,300	4,500	4,700	3,000	22.21
今 回 修 正 予 想 (B)	73,100	6,400	7,800	1,900	14.06
増 減 額 (B-A)	△1,200	1,900	3,100	△1,100	—
増 減 率 (%)	△1.6	42.2	66.0	△36.7	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	68,985	388	2,714	1,760	13.03

2. 修正の理由

平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の当社業績は、フリップチップタイプパッケージがパソコン市場低迷等の影響を受けたものの、サーバー向けが堅調に推移し、また、半導体製造装置向けにセラミック静電チャックが好調を維持したことなどにより製品構成が改善するとともに、為替相場が想定より円安傾向で推移したことなどにより、営業利益および経常利益は想定を上回る見込みとなりました。

一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、下記 3. に記載いたしました特別損失の計上により想定を下回る見込みとなりました。

このような状況をふまえ、平成 27 年 4 月 28 日に発表いたしました同期間の業績予想数値を修正いたします。

なお、平成 28 年 3 月期通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、業績予想の修正が必要となった場合には改めて公表いたします。

3. 特別損失（減損損失）の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、I C組立にかかる遊休資産について、将来の回収可能性を検討した結果、当第2四半期累計期間において帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として34億円を特別損失に計上する見込みであります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上